

# JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第29巻第3号

発行日●2021年8月31日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

## 第63回 消費者行動研究コンファレンス(オンライン)の概要

### <統一論題>

## 消費者行動研究と認知心理学

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。  
第63回は、オンライン開催となり、リアルタイム(生中継型)を基本とします。コミュニケーション・メディア「Zoom」を基本ツールに、論文プロポーザル賞のプレゼンテーションは「VIMEO」、選挙は「e投票」で行う予定です。

#### ー開催概要ー

開催日程： 2021年10月9日(土)・10日(日)

ホスト校： 流通科学大学

オンライン研究会参加費：4,000円[学生会員は2,000円] ※クレジットカード支払い

◆事前申し込み制(当日参加はできませんのでご注意ください)

オンライン懇親会：参加費無料 ※オンライン研究会参加者のみ出席可(詳細後日公開!)

◆テーマ別に複数のルームを用意します。出入り自在でオンライン研究会参加者なら誰でも自由に参加できます。

参加申込方法： JACS Web サイト( <http://www.jacs.gr.jp/> )にて9月1日より受付開始。

参加申込締切： 10月4日(月)までに必ずお申込み手続きを行ってください

#### 〔第1日目〕

10:00 - 10:10 開会の辞  
10:15 - 12:00 論文プロポーザル賞  
12:00 - 13:30 昼食休憩(役員会)  
13:30 - 15:40 統一論題 研究事例発表  
15:40 - 16:00 休憩  
16:00 - 17:00 パネルディスカッション  
17:00 - 17:15 休憩  
17:15 - 18:00 会員総会  
18:00 - 18:30 選挙  
18:45 - 20:15 オンライン懇親会

#### 〔第2日目〕

10:00 - 12:00 自由論題研究報告①  
12:00 - 13:00 昼食休憩  
13:00 - 14:30 自由論題研究報告②  
14:30 - 14:45 休憩  
14:45 - 16:15 自由論題研究報告③  
16:15 - 16:30 閉会の辞

## —統一論題—

## 「消費者行動研究と認知心理学」

松下光司（中央大学）

認知心理学は、わたしたち消費者行動研究者にとって、とても重要な学問分野です。事実、現在の消費者行動論は、認知心理学と多くの「重なり」を持つことで成立しています。手元にある認知心理学のテキストの目次を眺めると、消費者行動論で馴染みのあるコンセプトが次々と登場してきます（箱田他[2010]『認知心理学』有斐閣）。たとえば、注意、ワーキングメモリ、長期記憶、カテゴリー化、知識の表象と構造、判断と意思決定、認知と感情などです。これらは、商学部や経営学部などの消費者行動論の講義でも、取りあげられる項目ではないでしょうか。

消費者行動論が認知心理学と多くの「重なり」を持つことは、消費者行動研究の特徴を色濃く反映していると言えるでしょう。そもそも、消費者行動という研究分野は、消費という行動を解明するため、さまざまな学問分野からのアプローチを必要とします。多様な学問領域からの概念や方法を援用したり、他分野と積極的に連携しながら多面的にアプローチする必要があるわけです。両者の「重なり」は、消費者行動論の特性からみて、必然的なものなのでしょう。

ただ、このような密接な関わりにもかかわらず、わが国の消費者行動研究者が認知心理学者と積極的に交流を積み重ねているとは言えません。消費者行動研究者が、認知心理学者と共同研究をして学会発表をしたり、学会誌に研究を掲載している様子を頻繁にみることはできないのが現状です。

この「すれ違い」は見過ごすべきではないのかもしれませんが、同じような学問的な背景や研究テーマを持ちながら、お互いの研究について議論もせず、参照すらしない事態が起こりうるかもしれません。これでは、大きな研究の進展のチャンスを見過ごすことにもなりかねません。

たとえば、ブランド研究の例を考えてみてください。認知心理学の概念である「知識」が導入され、ブランド知識として概念化されることで、ブランドの強さを体系的に説明することが可能となりました。もし知識の概念の積極的な導入がなければ、ブランド戦略と消費者行動研究とが、いまのように架橋されなかったかもしれません。

これまで消費者行動研究は、認知心理学の影響を受けることで、成果をあげてきました。今後は、認知心理学とより積極的な交流をすることで、消費者行動研究に閉じているだけでは思いつかない、斬新な切り口やテーマを見い出し、その成果をさらに発展させいくことが期待されます。

以上の問題意識から、今回の統一論題では、消費者行動研究と認知心理学との交流の場を設定することを試みます。具体的には、認知心理学の研究者とマーケティングの立場からの消費者行動研究者の双方から、研究事例を提供してもらい、お互いの類似点や相違点を浮き彫りにしていきます。そして、今後のコラボレーションの可能性や方向を議論していきたいと思えます。認知心理学の立場からは佐々木恭志郎先生（関西大学）、消費者行動の視点からは外川拓先生（上智大学）そして、両方の立場から、井関紗代先生（中京大学）に登壇いただく予定です。また、パネルディスカッションでは、有賀敦紀先生（広島大学）にもご協力をいただきます。

そもそも消費者行動研究学会は、分野を越えた研究者間の交流や情報交換ができる土壌を育む場として設立されました（JACS 設立趣意書）。いま一度、その趣旨に立ち戻り、両分野が理解を深め、刺激し合う場を作りたいと考えています。多くの会員の方々のご参加をお待ちしております。

## 2021 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので、会員の皆様におかれましては是非とも奮ってご応募ください。申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

\*2021 年度はコロナの状況に鑑み、海外学会のオンライン参加も認めることとします。この場合、助成は英文校閲費のみの支給となります。

### 【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要件】今年度募集分より以下の要件を設けます。

1. 運用について：
  - ・採用は、お1人の先生につき最大2回まで
- 2 義務について：
  - ①助成年度から3年間は、JACSの会員として活動を継続すること
  - ②助成年度から3年以内に、日本消費者行動研究学会のコンファレンスにおいて1回以上研究発表を行うこと

### 【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mailにてご応募ください。

- E-mail 記載事項：
  - ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも1名が会員であれば応募可能です）
  - ②申請者および発表者全員の所属先
  - ③発表学会名
  - ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
  - ⑤発表論題
- E-mail 宛先：jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局）
- E-mail 件名：「JACS 国際学会派遣助成申請\_\_申請者氏名」と記してください。

【応募締切】2021年9月30日（木）

### 【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2021年10月下旬（10/30頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

※採択後の義務・その他、詳細につきましては JACS Website をご覧ください。

<http://www.jacs.gr.jp/announcement/>

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

**★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website( <http://www.jacs.gr.jp> )からご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会へ入会を希望される方は Website (<http://www.jacs.gr.jp/admit/>) から入会申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局( [jacs@asas-mail.jp](mailto:jacs@asas-mail.jp) ) までお送り下さい。

**●入会資格**

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、及びそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 1 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●入会規定**

<http://www.jacs.gr.jp/admit/index.htm>

**●年会費**

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学会会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**★法人会員には会員特典がございます。  
詳しくは「入会規定」をご覧ください。**

**●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●**

(事務局) 大阪市立大学 商学部 圓丸哲麻研究室  
〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138  
Email: [jacs.assist@gmail.com](mailto:jacs.assist@gmail.com)

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: [jacs@asas-mail.jp](mailto:jacs@asas-mail.jp)

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>